

資源集団回収の分別について

1 分別の現状

資源の分別に気を配っていただいているとは十分承知していますが、特に今年度回収したスチール缶には多くの不純物が混入していました。9月と1月には、上記の件並びに分別の協力をお願いを各実施団体の代表者へ通知しましたが、現在も適正な分別には至っていません。

【混入していた不純物】



2 不純物が混入した際の問題点

- ・リサイクル業者に引き取ってもらえなくなる。
- ・缶の処理に支障が生じ、質の高いリサイクルを実施することができない。

3 対策例

※あくまでも対策例を紹介しています。各団体独自の対策方法でも構いません。

- ・役員等が不純物は回収できない旨をその場で伝える。
- ・常設場を設置している団体は、不法投棄を招かないよう見回りや資源の分別を行う。

4 その他

3R活動地域推進員の皆様におかれましては、コミュニティの役員会がある際に、上記の件を周知していただきますようお願いいたします。

また、不純物が混入した際は、町内会・自治会に配布しているごみ指定袋を使って分別し、指定されたごみ収集日にごみ集積場所へ出してください。